

問1 近畿地方のうち、三重県や和歌山県南部などの太平洋に面した地域で見られる気候の特徴とその要因について、正しい説明はどれですか。

(2020年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 夏季は北西からの季節風を山地が遮るため降水量が少なく、冬季は暖流の影響で湿った雪が降る日が多い。 | 2. 夏季は南東からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬季は山を越えた乾燥した風が吹くため晴天の日が多い。 | 3. 冬季はシベリア高気圧から吹き出す湿った季節風の影響で雪が多くなり、夏季はフェーン現象により乾燥する。 | 4. 一年を通じて季節風の影響を受けにくいいため降水量の変化が小さく、常に温暖で湿潤な気候が続く。 |
|---|--|---|---|

問2 近畿地方の各府県が占める産業の割合や特徴について述べた文として、統計的な事実と一致するものはどれですか。

(2021年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 近畿地方のすべての府県において、食料自給率の向上を背景に、農業産出額が商品販売額よりも高い数値を示している。 | 2. 大阪府は工業専用地域としての役割が強いため、工業生産額が商品販売額の2倍以上の規模に達している。 | 3. 大阪府では卸売業などの商業活動が盛んなため、商品販売額が工業生産額や農業産出額を大きく上回っている。 | 4. 三重県などの周辺府県では、広大な農地を活かした農業が産業の主軸となっており、農業産出額が工業生産額を上回っている。 |
|---|---|---|--|

問3 近畿地方における人口の統計的傾向について、人口密度が低い府県に共通して見られる課題を説明したものとして、適切なものはどれですか。

(2015年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 人口密度と人口増減率には関係がなく、高齢化率も平均的である。 | 2. 若年層の流入が多いため、人口密度に反して高齢化率は低い。 | 3. 人口減少が進んでおり、社会の高齢化が地域内で最も進んでいる。 | 4. 人口が急増しており、住宅不足や過密の問題が発生している。 |
|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|

問4 瀬戸内海沿岸の地域において、年間降水量が約1000ミリメートルから1200ミリメートル程度と、周辺の日本海側や太平洋側の地域に比べて少なくなっている主な理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2024年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 大規模な都市化が進んだことにより、地表面の水分が失われ上昇気流が起きにくい。 | 2. 赤道付近から北上してくる暖流の影響により、雲が発生しにくい環境にあるため。 | 3. 北側の中国山地と南側の四国山地が、夏と冬それぞれの湿った季節風を遮っているため。 | 4. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した冬の季節風が、山地を越えずに海沿いを直進するため。 |
|---|--|---|---|

問5 京都市などの歴史的な都市では、建物の高さやデザイン、屋外広告物の色彩などに対して、法律や条例に基づいた厳しい制限が設けられています。このような規制を行う主な目的として、最も適切な説明はどれですか。

(2020年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 1. 都市の近代化を促進し、最新の建築技術を導入した高層ビルを増やすため | 2. 工業団地を誘致して製造業を活性化させ、地域の経済成長を最優先するため | 3. 土地の価格を抑制し、若年層が中心部に住みやすくするための住宅政策として | 4. 歴史的な街並みを維持することで、地域の文化や観光資源を次世代へ継承するため |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--|

問6 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖について、その地理的特徴や周辺地域との関わりを説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2023年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 淀川などを通じて、下流域にある京都府や大阪府などの生活用水や工業用水を供給している。 | 2. 日本で2番目に広い面積を持ち、周辺では大規模な干拓事業が行われ、現在は水田地帯となっている。 | 3. 火山活動によって形成されたカルデラ湖であり、その水は農業用水として利用できないほど酸性が強い。 | 4. 日本海とつながる汽水湖であり、シジミの漁獲量が日本一であることで知られている。 |
|---|---|--|--|

問7 兵庫県の繊維工業において、タオルなどの特産品の生産を維持・拡大するために行われている取り組みの内容と、その目的の組み合わせとして適切なものはどれですか。

(2023年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1. 伝統的な製法を維持するために、機械による製造をすべて禁止して希少性を高める。 | 2. 製品をブランド化して付加価値を高め、他地域や海外製品との差別化を図る。 | 3. 大量生産による低価格化を徹底し、安価な輸入品を市場から排除する。 | 4. 繊維工業の全工場を石油化学コンビナートの隣接地に移転させ、生産コストを削減する。 |
|---|--|-------------------------------------|---|

問8 日本の時刻の基準を決める「日本標準時子午線」が通る地点の地理的背景について述べた文として、正しいものはどれか。なお、基準となる経線は東経百三十五度とします。

(2026年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. その経線が通る高知県は、太平洋に面した四国地方の県であり、黒潮の影響を受けた温暖な気候が特徴である。 | 2. その経線が通る兵庫県は、日本海側と瀬戸内海側の両方に面しており、県庁所在地の神戸市もその経線上に位置している。 | 3. その経線が通る秋田県は、日本海に面した東北地方の県であり、県庁所在地を東経百四十度の経線が通っている。 | 4. その経線が通る大分県は、九州地方に位置して瀬戸内海の一部に面しており、火山活動による温泉資源が豊富である。 |
|---|--|--|--|

問9 琵琶湖の水利用と周辺地域の状況について述べた次の文のうち、正しい事実に該当するものはどれですか。なお、人口密度が1平方キロメートルあたり2,000人以上の地域を「高密度地域」と定義します。

(2022年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 京都府において琵琶湖の水を利用している人の割合は人口の約3割にとどまり、依存度は低い。 | 2. 琵琶湖の水を利用している人の割合は、水源がある滋賀県内よりも、下流にある大阪府の方が高い。 | 3. 琵琶湖の周辺や下流の大阪府・京都府南部は、いずれも人口密度が低い地域に分類される。 | 4. 琵琶湖の水は工業専用の用水であり、滋賀県内でも飲み水として利用されることはない。 |
|--|--|--|---|

問10 大阪大都市圏の特徴に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。

(2022年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|--|
| 1. 日本最大の人口規模を持ち、国会議事堂や最高裁判所などの首都機能が集中している | 2. 大阪市、京都市、神戸市の三つの政令指定都市が中心となって圏域を形成している | 3. 中京圏とも呼ばれ、自動車産業を中心とした工業地帯として発展している | 4. 本州と四国を結ぶ交通の要衝として、瀬戸大橋を通じて経済圏が拡大している |
|---|--|--------------------------------------|--|

問11 近畿地方の各府県の地理的特徴をまとめた説明において、海に面していない「内陸県」に該当する県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。

(2022年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 奈良県と和歌山県 | 2. 滋賀県と奈良県 | 3. 奈良県と京都府 | 4. 滋賀県と三重県 |
|-------------|------------|------------|------------|

問12 兵庫県の将来推計において、2025年には65歳以上の高齢者が全人口に占める割合が30パーセントを超え、さらに75歳以上で要介護認定を受け人の数が32万人以上に達すると予測されています。このような社会状況の変化がもたらす課題として、最も適切な説明はどれですか。

(2019年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 少子化が解消され、現役世代の社会保障負担が大幅に軽減される | 2. 労働力人口が過剰となり、県内での雇用確保が難しくなる | 3. 若年層の人口が急増し、義務教育施設の増設が必要になる | 4. 介護サービスの担い手不足と社会保障制度の維持が困難になる |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|